

# 2025-26年度 国際ロータリー第2650地区

## ロータリー財団グローバル補助金奨学生募集



平和構築と紛争予防



疾病予防と治療



水と衛生



母子の健康



基本的教育と識字率向上



地域社会の経済発展



環境



募集  
締切

2024年  
10月15日まで

## 地域や世界で活躍できる未来のリーダーを支援します

ロータリーは、奨学金を通じて未来のリーダーや社会に貢献できる人材を育てています。

ロータリー財団のグローバル補助金は、世界で求められている人道的ニーズや課題を反映した7つの重点分野のいずれかに関連し、長期的に大きな成果が期待できる、大規模で国際的な活動を支えるものです。



国際ロータリー第2650地区のグローバル補助金 / 奨学金は、これらの分野の1つあるいは複数に関連する研究のための、海外の大学院または同等の研究機関での1~2年間の留学を支援します。

### 奨学金の概要

支給額: 本人のエコノミー往復航空券代、授業料、教材費、寮費または下宿代、食費等に対して、米貨 30,000 ドル以上を提供する。(合格者の人数、留学期間、留学国などを考慮し、当地区の担当部門が金額を決定)

募集締切: 2024年10月15日まで

募集人員: 若干名

対象: 2025年7月1日から2026年6月30日の期間内に開始する海外留学(1~2年)を予定する方。

応募条件: 応募条件について、詳しくはホームページの募集要項をご覧ください。

<http://rid2650-pub.com/dc037/>

右記のQRコードからご覧いただけます。



「世界の農業や食を取り巻く状況に関する視野を広げることができました。」

私はロータリー財団のグローバル奨学金を受けて、2022年9月からデンマークのオーフス大学の修士課程で農業生物学の勉強をしています。

私は大学4回生のときに新しい環境に飛び出して学びを深めたいという思いから海外大学院への正規留学を決定しました。興味に沿う修士プログラムを探している中で、農業の持続可能性に強く焦点が当てられている当プログラムの内容にとっても魅かれ、留学を実現させるために当奨学金へ応募することを決めました。自身の留学先のプログラムや生活費に応じた金額を支給していただけたので、経済面での不安がなく学業に専念できることにとても感謝しています。

修士課程の一年目はコースワークが中心で、作物の栄養や病気、農業の環境への影響、土壌等について勉強しました。また、食料安全保障や農業におけるコミュニケーション、農業政策など私の専攻とは少し離れているコースを履修することができ、世界の農業や食を取り巻く状況に関する視野を広げることができました。



二年目の現在は、植物の根から分泌される物質が土壌微生物、そして土壌中の炭素や窒素の循環に与える影響というテーマで、修士論文の実験に打ち込んでいます。慣れない環境で英語だけを使って研究をすることは楽しいことばかりではありませんが、設備の充実した他国籍な環境で研究をするという貴重な経験を楽しんでいます。

今後は修士課程での経験を足掛かりに、博士課程に進んで研究を続けたいと思っています。気候変動の緩和策として農地への炭素の貯留を促進し、作物にとって最も重要な栄養である窒素の利用効率を向上させるために、作物の根とそれを取り巻く土壌微生物の関係性に対する理解を深めていくことに貢献したいです。

オーフス大学留学中 小山 拓馬さん 桜井ロータリークラブ支援

### 問い合わせ先

国際ロータリー第2650地区 ガバナー事務所  
〒600-8216京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室  
TEL:(075)353-2650 【受付時間】AM9:30~PM5:00(土・日・祝日休)

Rotary  
District 2650



国際ロータリーのホームページでは、国際ロータリーおよびロータリー財団に関する情報をご覧いただけます。  
<https://www.rotary.org/ja>



地域社会や世界における平和と紛争解決のリーダーを育成するプログラム「ロータリー平和フェローシップ」  
<https://www.rotary.org/ja/our-programs/peace-fellowships>

